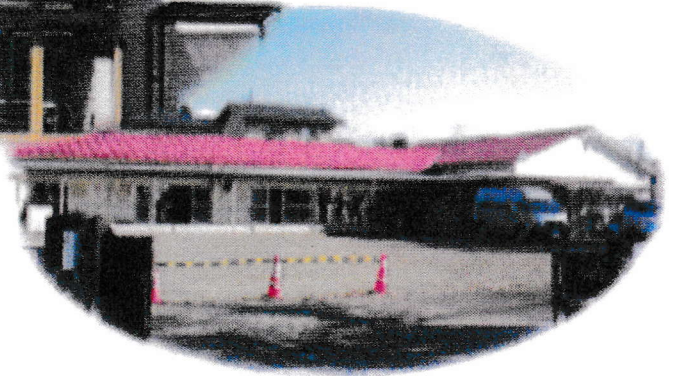
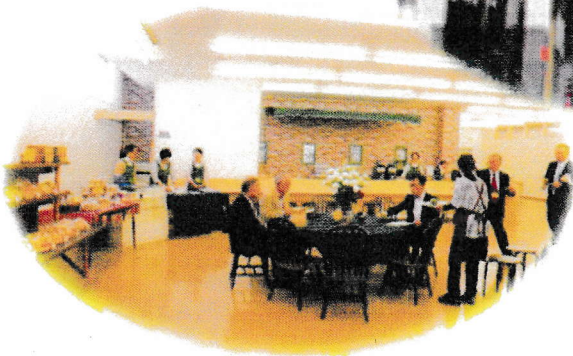


平成 29 年 3 月 21 日

平成 29 年度 社会福祉法人まるこ福社会

事業計画書



目 次

1、	まるこ福祉会の理念	1
2、	平成 29 年度 事業計画	2
3、	平成 29 年度 施設整備計画	6
4、	平成 29 年度 予算計画	7
5、	平成 29 年度 施設別目標 事業計画	8

まるこ福祉会の理念

1、はじめに 「障がい者の生涯を支えたい」

「障がい者の生涯を支えたい」

まるこ福祉会が発足より描いてきた大切な原点であり、理念であり、実現すべき目標であります。

平成 28 年度、本会はこの理念に大きな前進をいたしました。以下に、平成 28 年度に完了した整備の概要を挙げさせていただきます。

- | | |
|---------------------|---------|
| 1 地域密着型特別養護老人ホーム 大樹 | 開設 |
| 2 地域福祉空間 きらり | 開設 |
| 3 診療所 かんわ | 開設 |
| 4 総合厨房 | 開設 |
| 5 パン工房 ぐらんまるしゅ | 移設、オープン |

これらの整備事業を持って本会は三つの大きな力得ることが出来ました。一つ目は医療行為（すなわち看取り）ができる力、二つ目は複数の福祉分野が内部循環という仕組みを機能させた力、三つ目は地域社会のセーフティネットとしての拠点の力であります。

この大きな三つの力と従来からの地域社会との変わらぬネットワーク、障がい者の就労支援、生活介護、相談支援、グループホームなどの多角的な支援を融合し、新たな平成 29 年度の事業を計画いたします。職員各位の精査な確認と実行はもとより、関係各位におかれては、どうか変わらぬご指導、ご支援をお願い申し上げます。

2、まるこ福祉会が目指す理念

□ 「人の心に幸せの種をまく」

明治の文豪・幸田露伴の「努力論」の中に、「人間の生き方」を 3 つに分類したところがある。それは「惜福」「分福」「植福」である。

「惜福」とは、自分が持っている財産や宝を無駄遣いしないこと。

「分福」とは、自分だけ楽しまず、人に福を分けてあげること。

「植福」とは、幸せを、人の心の畑の中に、種を蒔いてあげること。そして、幸せの花を咲かせてあげる人のこと。

私たちまるこ福祉会は、この「植福」を、障がいの有無にかかわらず、どんな人々も味わえるよう、施設やグループホームにおける様々な作業や生活をとおり、その人の人生において、心の畑に幸せの種をまき、幸せの花を咲かせることを、永遠に目指していく。

□ オアシス宣言

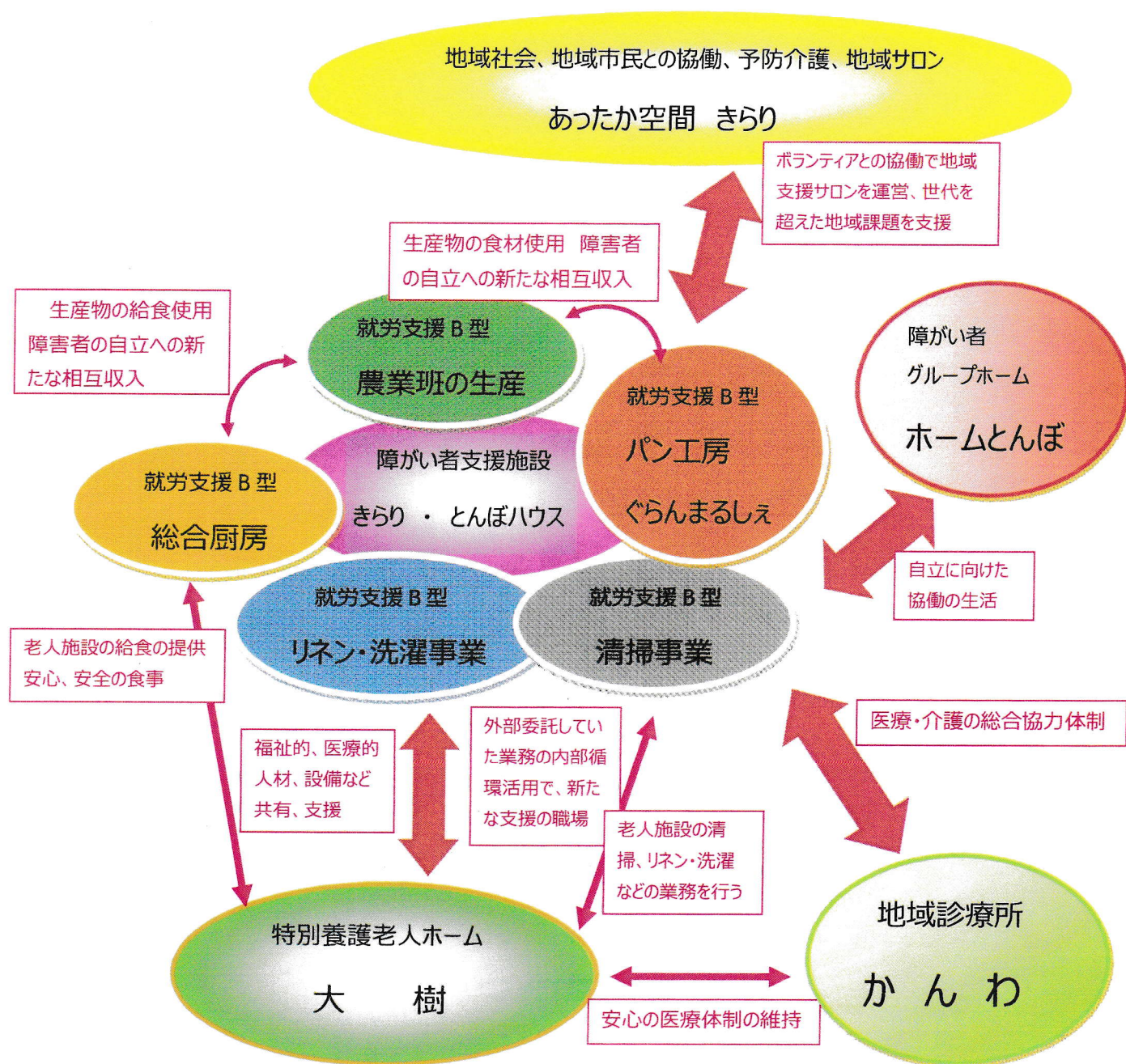
- 1 思いやりの心で 2 明るさを大切に 3 幸せなときを 4 過ごせる職場 ホーム まち 人生を目指す

平成 29 年度 事業計画

1、法人総合事業計画

平成 28 年度の整備事業を持って本会が得ることが出来た、大きな三つの力 ①医療行為（すなわち看取り）ができる力、② 複数の福祉分野が内部循環という仕組みを機能させた力、③地域社会のセーフティーネットとしての拠点の力を最大に活用して、新たな地域福祉のための事業行って参ります。

（まるこ福祉会が創る、地域支援、内部循環型総合福祉）



□ 「内部循環総合福祉」という新たな福祉の仕組みの確立

従来の特別養護老人ホームという福祉施設では、給食業務、清掃業務、リネン・洗濯業務など多くの業務が外部委託されていました。この老人介護の施設と障がい者の支援施設が一体的に取り組むことで、今まで委託されていた各種の業務を障がい者の新たな就労支援の場として展開します。

一次的には、同じ利用者収入であっても、その業務の活用の仕方により、二次的、三次的に他分野の福祉支援にすることができるのです。平成 28 年度に整備された事業の連携では、その分野を超えた二次的、三次的な支援が始まっています。今までの限界と思われていた壁を越え、大きく可能性を広げています。まるこ福祉会の平成 29 年度事業計画においての中心とすべきは、この内部循環の総合的な福祉の基盤をしっかりと固めることであります。

具体的には

- ① 大樹の給食、きらりの給食、職員の給食を、就労支援 B 型事業として運営できる体制を確立する。
- ② 農業班の収穫を可能な限り総合厨房で活用して、相互の収益とする。
- ③ リネン・洗濯業務事業を開始し、安定した運営にする。
- ④ 大樹の清掃業務を中心に、清掃作業の就労支援 B 型事業として安定した運営にする。

□ 医療分野の支援体制の確立

本会は、地域診療所「かんわ」を有しています。現在は大樹の利用者の嘱託医として、2 週間に 1 回の木曜日診療となっています。しかし、診療ができる医療施設をもっていることは、これから地域福祉にとって大きな可能性を持ちます。平成 29 年度は、その可能性を探りながら、一つ一つ開いていくことを計画いたします。

具体的には

- ① きらり利用者の外来診療を、診療所「かんわ」で行っていく。
- ② 職員の健康診断、診療を「かんわ」で行っていく。
- ③ 地域の一人暮らし高齢者などの診療を「かんわ」で行っていく。
- ④ 大樹、きらりの看護師が体制を作り、地域高齢者の希望健康チェックを行っていく。

□ 地域福祉拠点としての確立

本会は、あったか福祉空間「きらり」を有しています。また、そこには就労支援 B のパン工房ぐらんまるしえも併設されています。地域の福祉拠点として無限の可能性をもっています。平成 29 年度は、地域の人材、埋もれた資源を活用しながら、本会の福祉空間を地域福祉拠点と発展させます。

具体的には

- ① 利用者家族の新しい働き方「とんぼワーキング」の安定運営
- ② 地域ボランティアとの相互連携による安定運営
- ③ 併設「パン工房ぐらんまるしえ」による多角的な集客の安定運営

2、 継続して発展させるべき事業計画

平成 28 年度に、試みとして運営を開始した取り組みを、継続して事業発展させることを計画いたします。

□ 家族会からの勤務・・・「とんぼワーキング」

現在、パン工房ぐらんまるしえ、総合厨房において、「きらり」利用者の家族がパートタイム勤務ではありますが就労を開始しました。利用者のご家族が利用者の通う福祉施設の職員として勤務することで、施設も、利用者も、そしてご家族も新たな相互理解が広がっています。施設としても、これから本当に求められている利用者サービスを発見して展開することを、利用するご家族と協働で計画し事業化することができる大きな可能性があります。可能な限り、新たな就労スタイル「とんぼワーキング」を推進してまいります。

□ 家族会との相互連携による支える仕組み・・・「とんぼサポートクラブ」

今まで、本会を支える活動として継続運営されてきた「とんぼサポートクラブ」を昨年、家族会中心の運営へと発展させることを始めました。本会を支える「とんぼサポートクラブ」の主体者が本会に通所する利用者の家族会が主体的に運営をする安定した仕組みにしていまいります。

□ 地元ボランティア団体との協働

昨年 10 月 15 日の「あったか空間きらり」の開所より、地元ボランティア団体「あったかい輪」との空間の協働運営をしてまいりました。また、この空間は長野県社会福祉協議会の事例発表の会場として使用されるなど、多くの可能性を開いています。平成 29 年度は、更に多くの地域ボランティアなどと力を合わせながら、総合支援事業、地域包括ケアシステムの助力に貢献していく事業を展開します。

① 現在の関係ボランティア団体・・・ あったかい輪、 フラワーアレンジメントの会、 丸子社協

地元自治会

② 法人としての必要な対策・・・ 地域人材の有効な協働など、地域コーディネーターが必要である。

ぐらんまるしえ運営を含め、法人としての中心者を立てる。

□ 地域児童施設との継続的な連携・・・地域の保育園、幼稚園など

本会はこれまでも、地域の長瀬保育園と交流を結び、同園との交流会などを本会の会場で行うなど活動をしてまいりました。平成 29 年に入り、新たに地元ちぐさ幼稚園が、あったか空間きらりを訪れて交流が結ばれています。このような流れは、地域福祉空間を有する本会にとって大変に価値ある展開であり、本会の今後の福祉事業の展開においても前世代を支える、地域社会の総合福祉拠点としての法人使命を果たすべく、きらりホールを中心に地元保育園、幼稚園との事業を計画します。対象の施設は以下となります。

① 長瀬保育園

② ちぐさ幼稚園

3、地域的に必要とされる事業計画

少子高齢社会が地域社会を直撃している昨今、地域にとって社会福祉法人が果たさなければならない使命もまた、重要なものとなっています。制度の隙間ともいべき事項であり、地域的な課題のなかで、現状の本会の所有する設備、体制で地域支援が可能なものを実施計画とする。

□ 災害時の緊急避難および体制への地域拠点として

昨年の熊本地震、また、東北大震災、阪神大震災と我が国は多くの災害が起こりました。その度に人と人が支え合う地域の力が復興を可能としました。今、問われている災害時の地域の支えとしての拠点、本会の施設は可能な限りその使命を果たして参ります。特に大樹、きらり、福祉空間の3施設は同じ敷地内で設備も大きく災害時の拠点として機能できると考えます。

- ① 食料備蓄など…… 通常時から給食用の食料を多く備蓄しています。有事の際は、その食料を地域に放出して、支援体制を計画いたします。
- ② 放送、連絡体制……平成28年の整備事業では、本会のネットワーク環境を災害時に適応 Wi-Fi にて整備しました。支援体制を計画いたします。
- ③ 施設開放……福祉空間を含め、有事の際の施設開放を行うことを、支援体制として計画いたします。

□ シェルター機能を含めた、緊急時の市民支援

近年、制度と制度の狭間で、支援や支えを受けられず更なる困窮の状態となる市民がみられます。健常者、障がい者の違いや、世代を問わず、みられる現実となってきました。本会は現在、地域密着型特別養護老人ホームと障がい者グループホームという二つの入所型施設を有します。当然、居住、食事、入浴施設などがあります。地域市民の緊急的な支えが必要な際、二つの施設が有するショートステイ体制を柔軟に活用して支える体制を事業計画いたします。

本会のこれまでの市民緊急支援の実績例

- ① 刑務所退所後の行き場を失った市民の緊急支援
- ② 就労先を失った外国人滞在者の緊急支援
- ③ 家族の支援が受けられず、行き場を失った障がい者の緊急支援

など、過去にも沢山の実績があります。

平成 29 年度 施設整備計画

1、平成 29 年度 きらり整備計画

□ 障がい者支援施設 きらり 改修工事計画

平成 28 年度補正予算で承認いただいた上記計画に関して、工事業者見積もり等が期間内に完了せず。また、2 月、3 月という厳寒期に工事を行うことは、通所される利用者への大きなサービス低下になるとの検討から、同予算を平成 28 年度での執行を行わず。平成 29 年度における整備事業として予算繰り入れを行い整備計画を実施してまいります。

□ 整備事業の経過 …… 上田市への報告

報告作成 平成 28 年 12 月 28 日 総務課 課長 瀧澤敏之

この度、上田市様と本法人の協働提案による、「先進的福祉空間整備事業」をすすめるにあたり、本法人が所有、使用しておりました障害者支援施設きらり（上田市長瀬 2885 番地の 3）において、建築法上の用途変更が行われずに使用の状況にあることが確認されました。建築基準法上の違法の状態にあった事実に対して深くお詫び申し上げるとともに、これまでの経過のご説明を下記にて行い、速やかな改善を行います。

社会福祉法人まるこ福祉会 障害者支援施設 きらり 取得及び使用開始の経過説明

（住所：上田市長瀬 2885 番地 3）

平成 24 年 8 月 28 日 イオンテール株式会社より売買にて本法人が取得

占有部分の建物の表示：種類 店舗

8 月 28 日 登記完了（所有権移転） 専有 店舗

12 月 1 日 福祉共同作業所として指定完了、実質的に福祉作業所として使用開始

平成 25 年 2 月 12 日 登記内容変更完了 専有 作業所

以上、現在に至るまで、障害者支援施設（就労支援 B 型）として同建物を使用してまいりました。就労支援 B 型とは、知的・精神・身体の障害があり一般の企業等で就職が困難な方が、軽作業、パン工房など就労活動を協働でおこなうことを支援し、通所者が作業工賃を得ていく支援です。施設での基本行為は作業で、1 日 30 人程度の利用者が通所しております。建物は改修などを行わず、店舗使用時のレイアウトの（仕切りパテーション）を変更するだけで使用していました。本法人の理解といたしましては、

- ① 福祉施設としては県の許認可をいただいている
- ② 法務局の登記上の専有目的の変更もおこなっている
- ③ 建物の使用の仕方は、店舗の時と同様の作業が中心であり、間取りなどの大きな変更もなく使用している。

以上状況を踏まえて建築法上の用途変更を行わずに使用をしており。用途変更の必要が発生している事への認識が不足していました。深く反省し、建築基準法を満たす設計計画、改修計画を提出し、改善いたします。

平成 29 年度 予算計画

1、平成 29 年度 法人全体予算計画

□ 法人全体予算計画

□ 施設別予算計画

- | | |
|------------------|--------|
| ① 障がい者支援施設 | とんぼハウス |
| ② 障がい者支援施設 | きらり |
| ③ 障がい者グループホーム | ホームとんぼ |
| ④ 地域密着型特別養護老人ホーム | 大樹 |

□ 予算計画は、別紙にて参照をお願いいたします。

□ 各事業所の統括施設区分

- | | | |
|---------------------|-------|-----------------------------------|
| ① 障がい者支援施設 とんぼハウス | | 花風里 |
| ② 障がい者支援施設 きらり | | パン工房ぐらんまるしえ、 総合厨房
あったか福祉空間 きらり |
| ③ 地域密着型特別養護老人ホーム 大樹 | | 地域診療所 かんわ |

資金収支予算書

(自) 平成 29 年 4 月 1 日 (至) 平成 30 年 3 月 31 日

社会福祉法人 まるこ福祉会

(単位: 円)

勘定科目		前年度予算額	当年度予算額	増減額	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	0	112,300,000	112,300,000	
	就労支援事業収入	41,360,000	46,380,000	5,020,000	
	障害福祉サービス等事業収入	162,830,000	148,660,000 Δ	14,170,000	
	経常経費寄附金収入	1,000,000	810,000 Δ	190,000	
	受取利息配当金収入	67,000	45,000 Δ	22,000	
	その他の収入	14,080,000	28,810,000	14,730,000	
	事業活動収入計 (1)	219,337,000	337,005,000	117,668,000	
	支出				
	人件費支出	123,040,000	195,835,200	72,795,200	
	事業費支出	36,335,000	52,390,000	16,055,000	
	事務費支出	12,206,000	12,176,000 Δ	30,000	
	就労支援事業支出	41,360,000	46,380,000	5,020,000	
	支払利息支出	500,000	870,000	370,000	
	事業活動支出計 (2)	213,441,000	307,651,200	94,210,200	
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	5,896,000	29,353,800	23,457,800	
	収入				
	施設整備等補助金収入	153,339,000	3,000,000 Δ	150,339,000	
	設備資金借入金収入	220,000,000	0 Δ	220,000,000	
	施設整備等収入計 (4)	373,339,000	3,000,000 Δ	370,339,000	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	9,432,000	11,500,000	2,068,000	
	固定資産取得支出	376,100,000	39,500,000 Δ	336,600,000	
	施設整備等支出計 (5)	385,532,000	51,000,000 Δ	334,532,000	
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	Δ 12,193,000 Δ	48,000,000 Δ	35,807,000	
その他の活動	収入				
	サービス区分間繰入金収入	49,000,000	4,000,000 Δ	45,000,000	
	その他の活動収入計 (7)	49,000,000	4,000,000 Δ	45,000,000	
	支出				
	積立資産支出	8,000,000	5,000,000 Δ	3,000,000	
	サービス区分間繰入金支出	49,000,000	4,000,000 Δ	45,000,000	
	その他の活動支出計 (8)	57,000,000	9,000,000 Δ	48,000,000	
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	Δ 8,000,000 Δ	5,000,000	3,000,000	
予備費支出 (10)		37,913,222	113,438,556	75,525,334	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		Δ 52,210,222 Δ	137,084,756 Δ	84,874,534	
前期末支払資金残高 (12)		52,210,222	137,084,756	84,874,534	
当期末支払資金残高 (11) + (12)		0	0	0	

資金収支予算内訳表

(自) 平成 29 年 4 月 1 日 (至) 平成 30 年 3 月 31 日

【来期予算】

(単位: 円)

勘 定 科 目		き ら り	とんぼハウス	ホームとんぼ	大樹(特養)	
収 入	介護保険事業収入	0	0	0	112,300,000	
	地域密着型介護料収入	0	0	0	92,300,000	
	(介護報酬収入)	0	0	0	92,300,000	
	介護報酬収入	0	0	0	92,300,000	
	利用者等利用料収入	0	0	0	20,000,000	
	施設サービス利用料収入	0	0	0	20,000,000	
	就労支援事業収入	29,300,000	17,080,000	0	0	
	事業収入	12,950,000	13,200,000	0	0	
	委託料収入	0	3,880,000	0	0	
	障害福祉サービス等事業収入	64,000,000	60,280,000	24,380,000	0	
	自立支援給付費収入	64,000,000	60,280,000	20,000,000	0	
	介護給付費収入	12,000,000	30,280,000	20,000,000	0	
	訓練等給付費収入	52,000,000	30,000,000	0	0	
	利用者負担金収入	0	0	4,380,000	0	
	経常経費寄附金収入	700,000	100,000	0	10,000	
	受取利息配当金収入	32,000	12,000	1,000	0	
	その他の収入	7,510,000	2,350,000	3,450,000	15,500,000	
支 出	雑収入	3,810,000	50,000	150,000	0	
	給食費収入	3,700,000	2,300,000	3,300,000	15,500,000	
	事業活動収入計 (1)	101,542,000	79,822,000	27,831,000	127,810,000	
	人件費支出	48,643,500	48,734,100	16,300,000	82,157,600	
	役員報酬支出	4,100,000	0	0	0	
	職員俸給支出	21,720,000	19,360,000	8,000,000	82,157,600	
	職員諸手当支出	5,500,000	3,000,000	1,200,000	0	
	非常勤職員給与支出	12,500,000	21,540,000	6,000,000	0	
	退職給付支出	223,500	134,100	100,000	0	
	法定福利費支出	4,600,000	4,700,000	1,000,000	0	
	事業費支出	16,410,000	9,800,000	6,580,000	19,600,000	
	給食費支出	0	3,450,000	3,000,000	0	
	介護用品費支出	0	0	0	500,000	
	医薬品費支出	0	0	0	500,000	
	診療・療養等材料費支出	0	0	0	500,000	
	保健衛生費支出	220,000	120,000	50,000	500,000	
	医療費支出	0	0	0	500,000	
	被服費支出	0	0	0	500,000	
	教養娯楽費支出	400,000	680,000	300,000	100,000	
	業務委託費支出	670,000	1,300,000	20,000	0	
	水道光熱費支出	4,530,000	900,000	2,000,000	1,000,000	
	燃料費支出	1,600,000	1,300,000	100,000	3,000,000	
	消耗器具備品費支出	1,050,000	1,200,000	300,000	1,000,000	
	賃借料支出	1,200,000	50,000	10,000	0	
	修繕費支出	1,200,000	350,000	700,000	0	
	内部給食費支出	4,500,000	0	0	11,500,000	
	雑支出	1,000,000	450,000	100,000	0	
	事務費支出	6,250,000	3,676,000	1,250,000	1,000,000	
	福利厚生費支出	700,000	250,000	100,000	0	
	旅費交通費支出	310,000	95,000	10,000	0	
	研修研究費支出	350,000	65,000	100,000	200,000	
	事務消耗品費支出	560,000	125,000	0	130,000	
	印刷製本費支出	330,000	165,000	10,000	100,000	
	修繕費支出	40,000	30,000	0	0	
	通信運搬費支出	480,000	210,000	200,000	120,000	
	会議費支出	260,000	70,000	20,000	200,000	
	葬祭費支出	140,000	50,000	10,000	0	
	業務委託費支出	250,000	600,000	200,000	0	
	手数料支出	260,000	250,000	200,000	50,000	
	保険料支出	960,000	1,436,000	300,000	100,000	
	賃借料支出	500,000	0	0	0	
	租税公課支出	410,000	40,000	20,000	0	
	諸会費支出	330,000	210,000	50,000	50,000	
	雑支出	370,000	80,000	30,000	50,000	
	就労支援事業支出	29,300,000	17,080,000	0	0	
	就労支援事業販売原価支出	29,300,000	17,080,000	0	0	
	就労支援事業製造原価支出	29,300,000	17,080,000	0	0	
	支払利息支出	140,000	30,000	100,000	600,000	
	事業活動支出計 (2)	100,743,500	79,320,100	24,230,000	103,357,600	
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	798,500	501,900	3,601,000	24,452,400	
入 出	施設整備等補助金収入	0	0	0	3,000,000	
	施設整備等補助金収入	0	0	0	3,000,000	
	施設整備等収入計 (4)	0	0	0	3,000,000	
支 出	設備資金借入金元金償還支出	5,184,000	960,000	3,456,000	1,900,000	
	固定資産取得支出	34,000,000	3,500,000	2,000,000	0	
出	土地取得支出	9,000,000	0	0	0	

(単位:円)

勘 定 科 目		き ら り	とんぼハウス	ホームとんぼ	大樹(特養)	
支 出	建物取得支出	25,000,000	0	0	0	
	機械及び装置取得支出	0	2,000,000	0	0	
	車両運搬具取得支出	0	1,500,000	1,000,000	0	
	器具及び備品取得支出	0	0	1,000,000	0	
	施設整備等支出計(5)	39,184,000	4,460,000	5,456,000	1,900,000	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	Δ 39,184,000	Δ 4,460,000	Δ 5,456,000	1,100,000	
収 入	サービス区分間繰入金収入	4,000,000	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	4,000,000	0	0	0	
支 出	積立資産支出	0	2,000,000	2,000,000	1,000,000	
	施設整備等積立資産支出	0	2,000,000	2,000,000	1,000,000	
	サービス区分間繰入金支出	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
	その他の活動支出計(8)	1,000,000	3,000,000	3,000,000	2,000,000	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	3,000,000	Δ 3,000,000	Δ 3,000,000	Δ 2,000,000	
	予備費支出(10)	25,612,642	14,717,004	6,899,753	66,209,157	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	Δ 60,998,142	Δ 21,675,104	Δ 11,754,753	Δ 42,656,757	
	前期末支払資金残高(12)	60,998,142	21,675,104	11,754,753	42,656,757	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	0	

平成 29 年度 施設別 目標 事業計画

1、平成 29 年度 きらり整備計画

- 障がい者支援施設 きらり
 - ① パン工房ぐらんまるしえ
 - ② 総合厨房
 - ③ あったか福祉空間きらり

- 障がい者支援施設 とんぼハウス
 - ① 上田市丸子物産館 花風里

- 障がい者グループホーム ホームとんぼ

- 地域密着型特別養護老人ホーム 大樹
 - ① 地域診療所 かんわ

平成29年度 事業計画書

施設名： 障がい者福祉サービス事業所 きらり

社会福祉法人 まるこ福祉会

計画責任者	施設長	小室 邦夫	施設職員 (職責)	(サービス管理者係長)	田中 二三枝	
	責任職			(送迎管理主任)	根津 正秀	
				(看護主任)	中村 美千子	
				(ぐらんまるしえ主任)	小林 エミ	
				(総合厨房主任栄養士)	清水 潤二	
				(生活支援員)	柳澤潤一、武舎円賀	2
				(職業指導員)	荻原敬子、柳澤 歩	
					滝澤孝子、斎藤久美	
					依田浩武、芹沢ひろみ	
					池内千恵子、小林恵美子	
					南沢真由美 小林美すず	10
				(看護師)	竹内孝子	1
				(有償ボランティア)	両角利一、鳴澤康一	3
					小林隆	
				(育児休暇中)	綿谷佳菜	1
利用者状況	(定員)	就労B 30、生活介護 10		職員総数		23
	(現在数)	就労B	37人			
		生活介護	9人	計46名		

1、 全体計画 (理念、目標)

1、年間目標 「すべては、みんなの幸せのために」～行きたいきらりから行ってよかったきらり～

- ① 明るく楽しい施設を創造する。
- ② 笑顔第一、安全第一、あいさつ第一、健康第一で、作業と生活を充実させる。
- ③ 利用者の日常を満足させ、作業技術の向上と人間性の高揚を図る。

2、理念

まるこ福祉会の理念である「人々の心に、幸せの種をまく」をもとに、利用者、職員が共に、人、社会
自分のために心を磨き、仕事と生活面において充実と達成感、満足感を味わい、幸せの境涯を築く。

また、まるこ福祉会の「オアシス宣言」の日々達成を目指して、思いやりと明るさ、幸せの環境を築く。

3、事業体（管理事業所など）

きらり	ぐらんまるしえ	職員	19名
総合厨房		職員	4名

2、年間利用者目標

1、28年度の利用者数 定員40名 開所日数235日 9400

・就労支援B 月平均利用者数 30.2人

・生活介護 5.0人 35.2人

2、28年度の利用者回転率 80.2% 開所日数 235日

3、29年度の利用者目標

就労継続支援B型 30人

生活介護 10人 40人

4、29年の目標回転率 95%

3、年間予定

1 通年 特別養護老人ホームとの交流会を企画して、特技を発表しよう

・歌謡コンサート ・お花をいけてみよう ・物まねをして喜んでいただく

2 地域貢献活動 ・地域の緑化活動 ・あったかい輪との交流活動

3 近隣との交流活動 ・保育園、小学校、中学校、高校との交流活動 共生の心を学び合う

4 他施設との交流活動 幅広い人間関係から自己を高め、生きる目的を確認し合う

5 国連や諸外国との交流活動 世界市民の一員としての貢献活動を開始する

6 達人、名人をお迎えしての生き方を学ぶ 人生をどう生きるか、社会性、自立性の醸成

7 月間の主な行事

・4月 新利用者歓迎会

・5月 春を探しに、「お花見会」

・6月 陽光にあたって、「地域の宝さがし」

・7月 夏を探しに、「自然と散歩しよう」 1日キャンプ

・8月 夏の暑さをぶっ飛ばそう、「夏の紅白歌合戦」

- ・ 9月 秋を探しに、「白樺湖で自然と遊ぼう」
- ・ 10月 秋を満喫して、「栗拾いをしよう」
- ・ 11月 秋にさようならをして、「〇〇〇〇狩り」
- ・ 12月 冬を見つけて、温泉で心と体を癒そう
毎年恒例の利用者中心による「お楽しみ会」
- ・ 1月 三九郎と焼き芋大会
- ・ 2月 雪の素晴らしさを見つめて
- ・ 3月 1年間に感謝しよう

4、個別処遇目標

- 1、利用者の支援計画を立案し、各自のニーズ、個別目標、本人の役割、支援の内容・頻度・時間を設定して支援の目標達成を目指していく。
- 2 そのために、利用者の長所、課題を把握し、どこで、何を目指して獲得するか、個別目標を明確にする。
- 3 各利用者の力が発揮できる環境づくりと、サポートできる体制をする

5、各種委員会計画

職員として、「利用者の心を育てる委員会」の発足

利用者の主なクラブ活動を支える

- 1 手話ダンスクラブへの参加
- 2 ハワイアンダンスでの活動
- 3 フラワーアレンジメント講座への参加
- 4 地域の講座への参加

○虐待防止委員会の設置

職員と利用者との信頼関係を築くために
また、職員の意識の向上のために

6、消防計画

- 1 春、秋の年2回を原則に、消防活動を実施する
- 2 避難訓練を年2回実施し、安全対策を計画する
- 3 施設防火管理者・・・根津正秀

就労支援B型 事業所：パン工房 ぐらんまるしえ

計画責任者	施設主任 小林エミ	施設職員 (職責)	(主任) (職業指導員) 小林 エミ 1 荻原敬子 柳澤 歩 滝澤孝子 ※依田浩武 4
			職員総数 5

1、 全体計画 (理念、目標)

1、年間目標

- ① 地域交流スペースの充実を目指します。
- ② パンの販売と共にカフェの確立
- ③ 売れ筋、定着商品の見極めを確実に行い。利用者、職員の成型技術の向上
- ④ 就労支援B型の事業の確立

2、具体的な展開

- ① パンの販売とカフェの充実を行い、無料コーヒーの他のお客様のニーズにこたえる。
- ② 高校生、中学生、子育て世代など、多様な世代が利用する人気店を目指す。
- ③ 利用者の皆さんが、自分で考えてやりたいことが出来る環境づくりを目指す。
- ④ パン作りの楽しさを、利用者さんお客さんが感じられるパン工房を目指す。
- ⑤ 就労支援B型の事業として、工賃の向上を目指す事業計画を行う。

2、事業所受け入れ目標

年間 6名

3、課題解決への取り組み

- ① 15時のおやつを「きらり」「大樹」と共同で製造し、ぐらんまるしえで製造することを行う。
- ② 衛生管理にかんして、保健所の衛生講習会へ参加する。
- ③ ボランティア団体、事業所などのイベントには、総合厨房と共同で対応を検討する。

就労支援 B 型 事業所：総合厨房

計画責任者	施設主任 清水潤二	施設職員 (職責)	(主任栄養) (職業指導員) 清水潤二 1 斎藤久美、南沢真由美 小林恵美子 ※芹沢ひろみ ※池内千恵子 5
提供食数	きらり利用者 年間 7,200 食 大樹 利用者 年間 12,410 食 職員 年間 7,200 食	職員総数	6

1、全体計画 (理念、目標)

1、年間目標

- ① きらり、大樹の利用者が喜ぶ安全な食事の提供
- ② 農業班での収穫食材の活用
- ③ とんぼワーキングの活用
- ④ 就労支援 B 型の事業の確立

2、具体的な展開

- ① きらりでは、利用者が昼食を楽しみに通ってこられる食事作り、大樹では利用者の栄養管理も含めた食べやすい食事作りに配慮し、衛生面には気を付けて作業を行っていく。
- ② お米、味噌、じゃが芋など、利用者さんが作った食材を調理提供していく。
- ③ 利用者のご家族の方が働ける場所の支援を行っていく。(調理、洗浄など)
- ④ 就労支援 B 型の事業として事業計画を行う。(食器洗浄、食材料の仕込み)

2、事業所受け入れ目標

年間 2 名

3、課題解決への取り組み

- ① 15時のおやつを「きらり」「大樹」と共同で製造し、ぐらんまるしえに委託することもある。
- ② 衛生管理にかんして、保健所の衛生講習会へ参加する。
- ③ ボランティア団体、事業所などのイベントには、ぐらんまるしえと共同で対応を検討する。

平成29年度 事業計画書

施設名： 障がい福祉サービス事業所 とんぼハウス

社会福祉法人 まるこ福祉会

計画責任者	施設長 下村 みゆき 責任職	施設職員 (職責)	(サービス管理責任者) 林 明德 (生活支援員) 高橋早由理、斎藤博美 丸山幹代、 (職業指導員) 押金功、笠原徳幸 (看護師) 長澤八重子 (花風里) 依田希代子、中村美枝子 塩入みずほ、大平沙紀 (支援職員) 金井政夫、宮入栄
利用者状況	(定員) 就労継続支援B型 20 生活介護 20 (現在数) 就労継続支援B型 20 生活介護 13 合計 33	職員総数 14	

1、 全体計画 (理念、目標)

1、年間目標

- ① 明るく楽しい施設を創造する。
- ② ゆっくり、のびのびと活動が送れる場を提供する。
- ③ 一人一人のニーズや状況に応じた支援を通し、作業意欲の向上や充実した日常生活を目指す。

2、理念

まるこ福祉会の理念である「人々の心に、幸せの種をまく」をもとに、利用者、職員が共に、人、社会
自分のために心を磨き、仕事と生活面において充実と達成感、満足感を味わい、幸せの境涯を築く。
また、まるこ福祉会の「オアシス宣言」の日々達成を目指して、思いやりと明るさ、幸せの環境を築く。

3、事業体（管理事業所など）

とんぼハウス	職員 10名
花風里	職員 4名

2、年間利用者目標

1、28年度の利用者数 定員 就労継続支援B型 20名 生活介護 20名
開所日数 235日

・就労継続支援B型	月平均利用者	16.1人
・生活介護		9.4人
合計		26人

2、28年度の利用者回転率 65%

3、29年度の利用者目標

・就労継続支援B型	20人
・生活介護	20人

4、29年の目標回転率 75%

3、年間予定（別紙参照）

別紙 きらり年間予定に準ずる。

4、個別処遇目標

利用者のニーズは個々人により異なるため、きめ細かなアセスメントの把握に努め、その人らしい目標（個別支援計画）を設定し、自発的に取り組めるように支援していく。

5、消防計画

防災訓練 年2回 6月 10月
防火管理責任者 押金 功

平成29年度 事業計画書

施設名： 障がい者グループホーム ホームとんぼ

社会福祉法人 まるこ福祉会

計画責任者	施設主任 榎口いずみ 責任職	施設職員 (職責)	(サービス管理責任者) 下村みゆき (世話人) 榎口いずみ 鈴木ひろみ 依田広枝 大場みつ江 北澤佐代子 小林千晴	1 6
利用者状況	(定員) ホーム総定員数 (現在数) ホーム総数 ショートステイ 申請中	1 4 1 4 申請中	職員総数	7

1、 全体計画 (理念、目標)

1、年間目標

- ① 明るい施設を創造し、無事故の徹底を行う
- ② 利用者及びその家族との信頼関係構築が最も大切な処遇の基礎と定め、職員の徹底を行う。
- ③ 健康の維持管理、メリハリのある日常を過ごす。
- ④ 感染症対策を徹底し、利用者の生命を守る。

2、理念

まるこ福祉会の理念に準拠し、生命を守り、預かる誇りと責任を果たす地域に開かれた施設とする。

2、 年間利用者目標

1、平成29年度の利用者目標

- ① 長期利用者定員 14 室 年間 5,110 室
- ② ショートステイ定員 床 年間 床

2、平成29年の目標回転率

- ① 平成29年度 長期入所者目標 年間 4,855 室

※長期入院者および、空室までの待機分を換算

回転率 95%

- ② 平成29年度 ショートステイ目標 申請中

回転率 %

3、年間予定

- 1、各種行事・・・・・・ 各月ごとに季節の催事を行う
- 2、夜間避難訓練・・・・10月 防災消火訓練・・・・6月
- 3、希望外出などを計画
- 4、きらり主催の音楽リハビリの実施を行う。

4、個別処遇目標

- 1、サービス計画を作成して、記録の実施も明確にします。
サービス計画は6か月ごとの見直しを行い、本人、家族の承認を得ます。
作成の流れは、サービス管理者が原案作成 → ケア会議 → サビ管が細部の検討と作成、承認
- 2、特養 大樹の各種委員会との関係による入所施設の体制強化
 - ・感染症委員会
 - ・身体拘束・事故防止委員会
 - ・介護と医療との連携検討委員会（特定医療行為、看取り）

5、消防計画

- 1、夜間避難訓練・・・・・・ 10月実施 特養 大樹との共同での実施
- 2、防災消火訓練・・・・・・ 6月実施
- 3、施設防火管理者・・・・ 柳澤正敏

平成29年度 事業計画書

施設名：地域密着型特別養護老人ホーム 大樹

社会福祉法人 まるこ福祉会

計画責任者	施設長	瀧澤敏之	施設職員 (職責)	(介護係長)	山岸敏明	1
	責任職			(ユニットリーダー)	上原伸康、山岸吉子	2
				(看護主任)	依田広枝	1
				(介護士)	木藤福美、小林直子	11
					依田流作、柳澤美夏子	
					山本敏敬、森沢心赤	
					長谷川ひかり、武井彩	
					中村和子、畑 茜	
					長谷川由美	
				(相談員・ケアマネ)	安藤幸江	1
				(相談員・事務員)	辰野のぞみ	1
利用者状況	(定員)	一般ユニット	29	職員総数		17
		ショートステイ	5			
	(現在数)	一般ユニット	29			
		ショートステイ	5			

1、全体計画 (理念、目標)

1、年間目標

- ① 明るい施設を創造し、無事故の徹底を行う
- ② 利用者及びその家族との信頼関係構築が最も大切な処遇の基礎と定め、職員の徹底を行う。
- ③ 職員個々の介護技術、接遇を向上させる。
- ④ 感染症対策を徹底し、利用者の生命を守る。

2、理念

まるこ福祉会の理念に準拠し、生命を守り、預かる誇りと責任を果たす地域に開かれた施設とする。

3、事業体 (管理事業所など)

大樹	診療所かんわ	嘱託医 1名
----	--------	--------

2、年間利用者目標

1、平成29年度の利用者目標

- ① 長期利用者定員 29床 年間 10,585床
- ② ショートステイ定員 5床 年間 1,825床

2、平成29年の目標回転率

- ① 平成29年度 長期入所者目標 年間 10,056 床
※長期入院者および、開設時満床までの待機分を換算
回転率 95%
- ② 平成29年度 ショートステイ目標 年間 1,460 床
※長期入院者および、開設時満床までの待機分を換算
回転率 80%

3、年間予定

- 1、利用者回診日・・・・・・ 隔週第2、第4木曜日
- 2、利用者レントゲン検査・・・・・・ 10月
- 3、各種行事・・・・・・ 各月ごとに季節の催事を行う
- 4、夜間避難訓練・・・・ 10月 防災消火訓練・・・・ 6月
- 5、希望外出などを計画
- 6、毎週音楽リハビリの実施を行う。

4、個別処遇目標

- 1、施設サービス計画を作成して、記録の実施も明確にします。
施設サービス計画は3カ月ごとの見直しを行い、本人、家族の承認を得ます。
作成の流れは、ユニットリーダー原案作成 → ケア会議 → ケアマネが細部の検討と作成、承認
- 2、各種委員会による徹底
 - ・感染症委員会
 - ・身体拘束・事故防止委員会
 - ・褥瘡委員会
 - ・介護と医療との連携検討委員会（特定医療行為、看取り）
- 3、利用者アンケートの実施
 - ・利用者に3カ月に1回程度、利用に関する聞き取りアンケートを実施する。
 - ・ご家族にも、半年に1回程度、利用に関する聞き取りアンケートを実施する。
 - ・内容は施設長を中心に、処遇向上の会議を持ち、施設に具体的に反映する

5、消防計画

- 1、夜間避難訓練・・・・・・ 10月実施
- 2、防災消火訓練・・・・・・ 6月実施
- 3、施設防火管理者・・・・・・ 永井久子